

取組の概要

取組の概要 : 露地野菜産地の販売額増加と生産体制整備
 計画作成主体 : 白山市農業活性化協議会
 対象品目 : ブロッコリー (産地面積60ha)
 主な取組主体 : 農業生産法人 (有)安井ファーム
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業 (集出荷貯蔵施設)
 状況

ポイント

【取組の主題(テーマ)及び課題】

現状は農業者が個別に選果・出荷を行っているが、栽培面積の増加に伴い、市場が求める十分な鮮度保持や、日々の出荷量変動への対応が課題となっている。

【革新的な方策(産地イノベーション)】

集出荷貯蔵施設を整備することで、鮮度保持による品質の高位安定化、冷蔵保存による計画的な出荷・販売が可能となり、契約販売の拡大等、有利販売による販売額の10%増加を実現する。

地区の概要

石川県
白山市
宮保地区



産地の現状と目標

〈現状〉

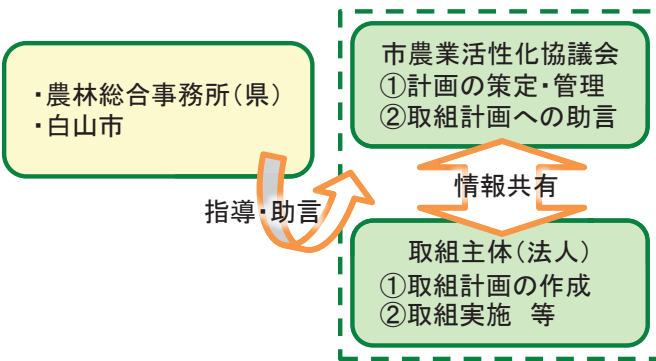
【26年度】 産地面積 50 ha
販売額 246千円/10a

〈目標〉

【30年度】 産地面積 60 ha
販売額 271千円/10a



推進体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・地区内生産者の一元集出荷による品質の高位安定化、販売ロットの拡大。
- ・個別農業者の選別調製、集出荷作業時間を削減し、産地面積の拡大や栽培方法の改良により所得の向上を図る。

〈県・市町村単独事業〉

- ・園芸拠点施設整備事業費による事業費の助成 (白山市:7.5百万円)

事業効果

【ブロッコリーの販売額増加】

・鮮度保持による高品位安定化、計画的な出荷・販売を可能とすることにより、販売額の10%増加を実現する。

【産地面積の拡大】

・個別農業者の選別調製、集出荷作業時間を削減し、産地面積の拡大を図る。

～ブロッコリーの販売額～

